

## 萩地区林業士会が研修会を開催

令和4年3月15日（火）、阿武町奈古の「ABU キャンプフィールド」において、萩地区林業士会（会長：高橋正演）主催による研修会が開催されました。阿武町農林水産課職員を講師に迎え、萩地区（萩市、阿武町）の林業士9名が参加しての実施となりました。

この取組は「森林・林業をキーワードに地域活性化を目指す阿武町の挑戦」を地域林業のリーダーである林業士の皆様に知っていただくことで、阿武川流域林業の振興に役立てようと、オープンまもない「ABU キャンプフィールド」で開催されたものです。

阿武町では地域おこし協力隊員を「林業支援員」と位置づけ「自伐型林業」の担い手として養成しています。さらに出口対策として、地元流域産木材をふんだんに利用した滞在型木造交流拠点「ABU キャンプフィールド」を整備しました。当キャンプ場には道の駅、温泉施設が隣接しており、阿武町の魅力を堪能できる施設となっています。

キャンプ場や温泉施設の燃料として阿武町産木材を供給するとともに、様々な体験プログラムを実践することで、交流人口の拡大にも貢献するものです。

今後も、森林・林業を通じた阿武町の活性化のために林業士の皆様の卓越した技術と経験に基づく指導・助言を期待しています。

なお、阿武町の取組の詳細については「林業山口 2022年2月号」を御覧ください。



「阿武町の挑戦」を熱心に聞き入る参加者



ふんだんに木材を使用した施設を見学